

『思いきって参加して良かった！』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」第 36 号

おとといの日曜日、ワンデイトリップに参加しました。日本語学校の留学生と、日本人家族がペアになって街を散策するプログラムです。私のパートナーは、UAE から来たニワンさんでした。彼の今までの人生の話はとても面白く、たくさんお話をしました。

昨日は他のペアと一緒に、3~4 才児も含め総勢 14 人の大所帯で井の頭公園に行きました。台湾、韓国、ベトナムと様々な国の留学生と一緒にでした。一緒にお弁当を食べ、ボートに乗って楽しい時を過ごしました。とても寒かったので、持って行ったカイロを配るカイロおばさんになっていた私でした(*^_^*)

さて、機関誌 CELULAS 第 5 号が発刊されました。

セルラスの活動に目覚めたお父さんや理事長の声も載っていて、セルラスの今を感じてもらえる作りになっています。ぜひご一読ください。

<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

◇◇ 思いきって参加して良かった！ ◇◇

1 月に配信した第 19 号で、素敵な新入会アンケートを披露して下さった幡さん。

<http://www.celulas.or.jp/Omerumaga/Vol19.pdf>

今回はその幡さんが実際にセルラスに入会して 10 か月後の今の心境を語ってくれました。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラス メルマガ』第 36 号の目次です。

【 目次 】

≪1≫ 思い切って参加して良かった！

川崎市在住 幡さん（家族構成：夫・3才息子）

≪2≫ セルラス インフォメーション

≪1≫ **思い切って参加して良かった！**

川崎市在住 幡さん（家族構成：夫・3才息子）

私は今、3 歳になったばかりの息子を連れて神奈川県川崎市の溝の口ピアザに参加しています。

入会して 10 ヶ月になりました。溝の口ピアザは金曜夜 6:30 からです。

保育園に 6 時ギリギリに滑り込んで、一週間の荷物を持ってピアザに向かいます。

帰宅ラッシュの電車にベビーカーでは乗れずに、子どもと大荷物とベビーカーを手に持って乗ることになったり、歩かせればとんでもない方向へ行ってしまったり、追っかけまわして大遅刻、なんてこともしばしばで、行くだけで疲れてしまうのですが、最近は自転車に荷物と子どもを積んで、強制連行するという方法で落ち着いています。

小さい子を連れて来るだけでも大変なのに、なんでそこまでしてピアザに参加するの？

という質問をいただいたことがありましたので、その辺りのことを書いてみようかと思えます。

10ヶ月経った今、息子も溝の口ピアザの環境にだいぶ慣れました。

以前は私から離れられず帰りがたっていました。今は、自分からお兄ちゃん達の中に混ざって行けるようになりましたし、お兄ちゃん達も息子を可愛がってくれて楽しそうにやっています。

息子はやはり小さいですから、すぐにお兄ちゃんたちと同じような活動ができるはずもありません。

でも家庭と保育園の往復だけで生活するのではなくて、お兄ちゃん達との関わりがあることが、それだけで一人っ子の息子にはいい刺激になるだろうと思っています。

大人が言うことよりも、子ども自身がその環境に身を置いて、お兄ちゃん達の様子から感じ取り自分もやってみたくなって、実際にやらせてもらえる場があって、そこで失敗しても成功しても受け入れてくれる、そこから自分で見つけ出した答えこそ、正解だと思っています。

正直なところ、仕事が忙しいと大幅に遅刻してしまうことが続いて、きちんと参加できないからという理由で、しばらくお休みした時期がありました。

でも私が何かするわけじゃない、ピアザの環境が息子を育ててくれるんだから、この環境に丸投げしちゃおう！

私は10分でもいいから、ここに来ることだけを続けようと思い直して再開しました。おかげで息子も、溝の口ピアザがもうひとつの居場所になってきています。

この間は、帰りに私がみんなに See You!と言っていたのを真似て、しーゆー！と言っていました。

こういう姿を見ると、本当に親子でやっていて良かったと感じます。

それと、ピアザにいと、息子が走り回ったり転がったり泣いたり、部屋から出て行ったり…と色々あるわけです。

申し訳ないな、迷惑かな、と思いますが、ピアザには子育ての先輩がたくさんいるので、そんなの当たり前～と誰も気にしません。

私自身が今の話ちゃんと聞きたいな！と思っても、子どもを追っかけていてその場にいられないこともあります。すると後で誰かがちゃんと教えてくれます。

子どもがいるから特別とか迷惑だというような扱いを受けたことはありませんでした。

そうやって自然に受け入れてもらったことで、ピアザのメンバーへの信頼感が深まったので、この環境に丸投げしちゃおうと思えたのかな？と感じています。

私自身の変化としては、子どもの頃と学生時代に英会話をやっていたんですが身につかず、むしろ苦手になって避けるように生きてきました。

でも最近は何語を話している人だろう？と耳を傾けたり、言葉を越えて接触したくなってきました。

セルラスのお話の「ことばと心の扉を開いて」というタイトルがずっとしっくりきていなかったのですが、まさに私これをやっているんじゃないの～？という体験を最近しました。

先日は、「この電車に乗って目的地へ行けるのだろうか？」と迷っていそうなアジア系の女の子2人が車内から見えたので「大丈夫？どこまで行くの？」と声をかけました。

また、浅草に用事があって行くと、母娘で観光していた中国系の2人がいて、お母さんがスカイツリーをバックに娘の写真撮っていました。日本のいい思い出を残してほしいなと思って、「一緒に撮ってあげようか？」とジェスチャーで声を掛けて撮ってあげました。すると、「この住所に行きたい」と聞かれたので、私も土地感はないため検索して教えてあげるととても喜んでくれました。今までの私なら、声を掛けられても、気づかぬふりして通り過ぎていたと思います。

家庭では、夫と料理をしていて手が当たった時や、子どもがスプーンを落とした時など、私から意図的に「ケンチャナ？」と聞いてみました。夫は言葉は知らなくても状況から意味が分かったと言っていて、今までと違うコミュニケーションが取れるようになったことが嬉しかったです。

ある時、「カンパゲッター！」という音だけを思い出したときがありました。これなんだっけ？とっていて、CD を最初から聞いていたら、違う場面で同じ音が出てきました。

それを聞き取れたことや自分の耳にことばが留まってきたことなど、少しずつですが我が家に多言語活動が居つき始めたような気がしています。

子どもとゼロから一緒に始められることって、ありそうでなかなかないものです。

子どもの為に！だけでなく自分自身もどうなっていくんだろう？とワクワクしながら活動を続けていきたいと思います。

《2》セルラス インフォメーション

◆ 2016 年 多言語教育講演会のお知らせ ◆

各地で講演会が開催されています。

セルラスのこと、多言語教育活動のこと、もっと詳しく知りたい方はぜひ足をお運びください。

お友達やお知り合いにもぜひお知らせください。お申込みお待ちしております。

◎関東

○東京／渋谷

【渋谷】11/5(土)午後

○神奈川／横浜

【横浜】11/15(火)午前・11/19(土)夜

【横浜関内】11/18(金)夜

◎関西

○兵庫／神戸市

【神戸】11/1(火)午前

○兵庫／西宮市

【西宮】11/2(水)午前

開催場所、時間などの詳細は HP をご覧ください。

⇒<http://www.celulas.or.jp/skejur2016.html>

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育講演会・セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。